



The Alvis Car Company
established 1919

今もなお、本物の新車を作り続けている



The Real Authentic

優雅なクラシックカーを新車で楽しむ

The Alvis 4.3 Litre Continuation
Lancefield Concealed Hood

アールデコ期の美しき 4座ドロップヘッドクーペ



アールデコ華やかかなりし時代、1938年のアールズコート・モーターショーのために、アルヴィス ランスフィールド・コンシールド・フードは仕立てられました。ランニング・シャシーはアルヴィスのラダーフレームに3.5ℓのストレート6を組み合わせ、アッシュ材とアルミニウムパネルによる内外のボディワークはランスフィールド・コーチワークスが架装しました。

その要件は、乗員全員が快適に過ごせる4シーターでありながら、オープンエアを通じてドライビングのスリルをも分かち合えること。この相反する条件に対し、趣向を凝らした“4座ドロップヘッドクーペ”は、特異な美しいシルエットとグランドツアラーにふさわしいパフォーマンスを両立させました。下ろした幌をリアデッキ内に美しく格納する“コンシールド・フード”は、優雅さとラグジュアリーが一体だったアールデコの時代を代表する、審美的かつ先進的なボディワークです。

今日の「コンティニュエーション・シリーズ」では、アル

ヴィス最強のエンジン4.3ℓストレート6を搭載。そして唯一無二のヘリテージ・モデルから3DスキャンしてCAD設計を施すことで、オリジナルの美しいシルエットと機能は完璧に、ハンドメイドで再現されます。本物のクラシックカーを新車から走らせる歓びに新たな視点や“装う楽しみ”が添えられたといえるでしょう。

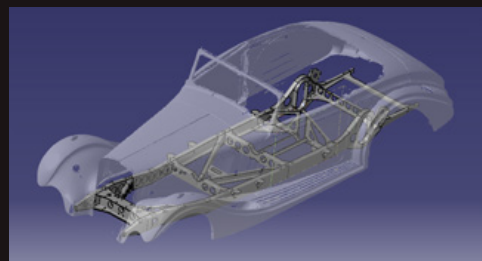




走る歓びと優雅さに特化した デュアルパーパス・ビルト



“光”や“陽光”はアールデコの定番モチーフで、幌の骨組やドアの内張りの美しい仕上げに注目。幌の収納時もショルダーラインは保たれ、トランクスペースも独立している。またワイドなドアと巻き上げ式サイドウィンドウは、乗降性の容易さと視界の広さをも同時に確保。



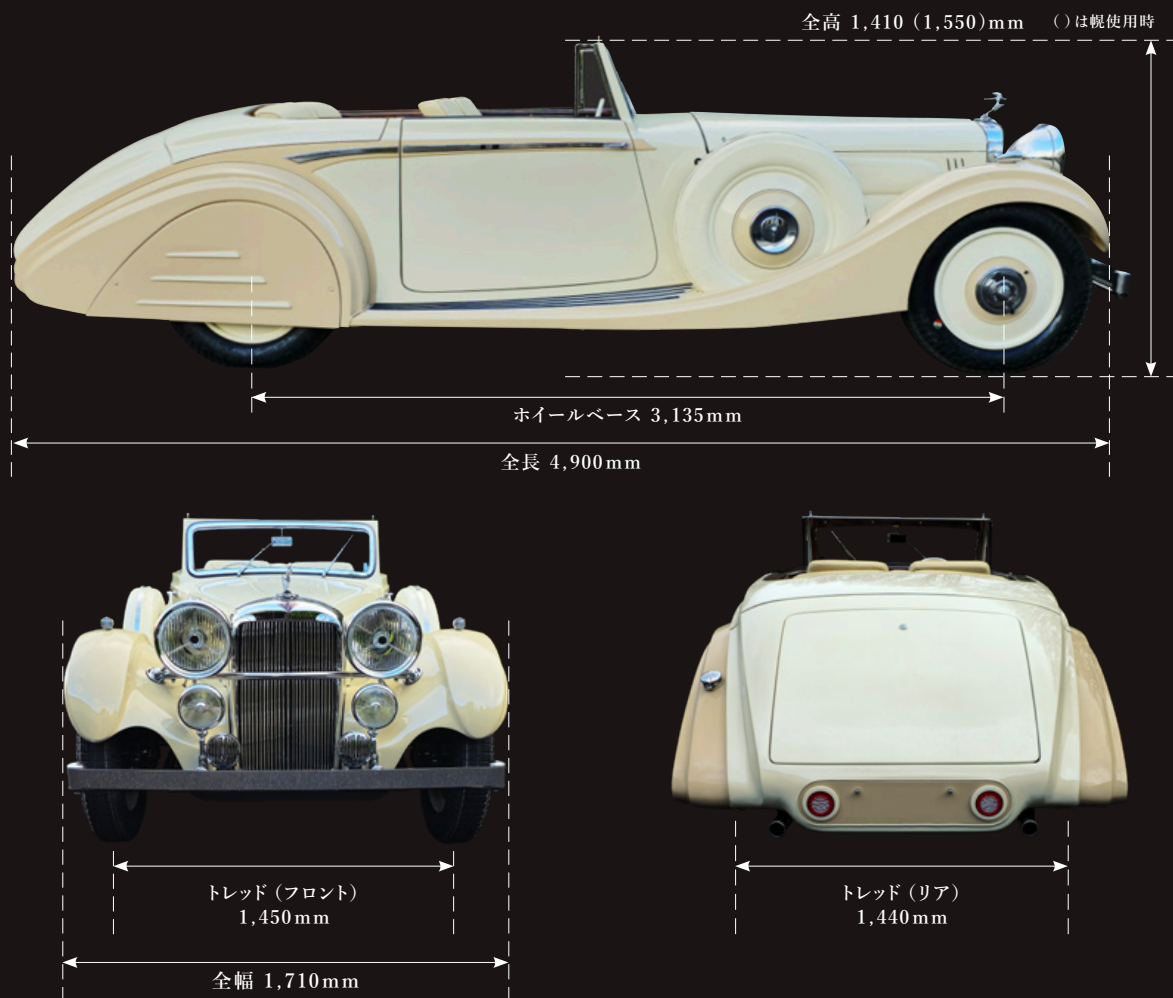
スチールのラダーフレームと叩き出し成型されるアルミパネルの間には、アッシュ材の骨格が張り巡らされる。ヘリテージ・モデルを精密3Dスキャンし、CADで正確な寸法を再現して加工することで、アールデコの薫り高い流麗なボディワークを可能とした。ワークショップ内、奥に控えるのは1937年のままのヘリテージ・モデル。



燃料供給方式や電装関連、トランスミッションといった装備に関しては、キャブレターと違って調整不要のインジェクターや、失火や充電不足の起きにくい大容量オルターネーター、トルク許容範囲が大きくカバレッジの広いトランスミッションを採用している。ボンネットフードを開けた際もストレート6のヘッド周りの見映えを損ねることはない。

ALVIS

The Alvis 4.3 Litre Continuation Lancefield Concealed Hood



Lancefield Concealed Hood 諸元表

エンジン	アルヴィスオリジナル 直列6気筒OHV
総排気量	4387cc
最高出力	160ps
トランスミッション	6速マニュアルトランスミッション
最終減速比	3.8:1
サスペンション形式	<フロント> 独立懸架式 <リア> リジッドアクスル式
ブレーキ形式	油圧式四輪ディスクブレーキ
ホイール	6.00×19
冷却装置	高効率ラジエーター
燃料供給装置	アルヴィスオリジナル燃料噴射装置
電気系統	アルヴィスオリジナルのエンジンマネジメントシステム 高出力スターターモーター、大容量オルタネーター
シャシー	亜鉛メッキ高級鋼
コーチワーク	アッシュフレームおよびアルミボディ

発売元

ALVIS 日本総代理店
明治産業株式会社〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-7-4

TEL 03-6859-1390

E mail:
alvis_info@meiji-japan.comWebsite:
<https://www.thealviscarcompany.jp>